

(様式4 実施結果の公表)

つくば市国民健康保険データヘルス計画(第2期)(案)の パブリックコメント手続の実施結果

平成30年2月

つくば市 保健福祉部 国民健康保険課

■ 意見集計結果

平成29年12月1日から平成30年1月9日までの間、つくば市国民健康保険データヘルス計画(第2期)(案)について、意見募集を行った結果、1人(団体を含む)から4件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(含む団体)
直接持参	0人
郵便	1人
電子メール	0人
ファクシミリ	0人
電子申請	0人
合計	1人

■ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

○ 第1章 計画策定の目的と背景 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	PDCAサイクルでは、(D)の実施することが最も重要と考える。各対象者別の保健指導は行政が主体となって、各交流センターや保健施設等を利用して、具体的な諸講座を実施すべきである。例えば、各対象者別の食事講座、ストレッチ、ヨガ等。	1件	本市では、健康づくりの推進と生活習慣病予防のために、特定健康診査結果の重症度別かつ疾患別に応じ、保健センターで健康アップ教室を実施しております。また、交流センターや商業施設等では出前教室を開催し、健康講話や栄養指導、体操等を実施しております。各事業の詳細については、p104～p108に記載しております。 さらに、より生活改善が必要な方に対しては、特定保健指導において個人の状況に応じた情報提供などの具体的なフォローアップを実施しております。 今後も各事業において、健康課題を明らかにし、きめ細かな保健指導に努めてまいります。

○ 第2章 現状分析 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>(1) p 43から p 100 有効で、貴重な資料であるが、ここまで必要なのかという資料が散見される。 p 47 図表21から p 51 図表25 p 74 図表64, p 75 図表66 p 76 図表68 p 77 図表70</p> <p>(2) 特定保健指導の状況の把握は確実に必要性があると思うが、各フローチャートがよくわからない。 p 88 図表89, p 89 図表90 p 90 図表91</p>	2件	<p>図表21から25は、医療費に関するデータを分析し、同規模市町村や茨城県、全国と比較することで、本市における健康課題を抽出し、その課題解決に向けて各保健事業を実施することにつながるために、有効に必要な分析であると考えております。具体的な内容は、p 121の医療費・疾病状況の現状分析結果No. 1, 2及び課題、保健事業の欄に記載しております。</p> <p>図表64・66・68・70は、特定健康診査の問診の回答結果から、喫煙と睡眠不足の状況について年齢階層別に傾向を分析したものです。第4章及び第5章の課題と対策に記載はございませんが、これらの分析は、今後の新しい事業の実施につなげるための資料となるものとして、有効に必要な分析であると考えております。</p> <p>図表89. 90. 91は、特定健康診査受診者の検査結果の数値により、治療の有無や特定保健指導のレベル階層別（情報提供・動機付け支援・積極的支援）の状況を表しています。血圧・中性脂肪・Hb A 1 c 値の高い状態にある者ほど、生活習慣病のリスクが高いため、未治療者及び特定保健指導未利用者への働きかけの必要性を理解していただけるよう文章を追記します。（修正の内容参照）なお、図表89. 90. 91から導き出される現状分析結果や課題については、p 118に記載しております。</p>

○ 第4章 重点課題と対策 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>生活習慣病改善のために何をどうするのか、系統別に「原則的なフローチャート」があるとよい。例えば、簡単なパンフや標語、のぼり旗にして配布する。</p>	1件	<p>重点課題のひとつである「健康づくりの推進」を実施するための対策として、「生活習慣病予防・重症化予防」を目的とした「健幸長寿日本一をつくばから」事業をもとに、対象者のニー</p>

<p>(系統別の「原則的なフローチャート」とは、病態毎に、規則正しい生活習慣、食事、運動、ストレス発散等について、気をつける点や気軽に実行できる事などを簡単なパンフにして配布することであると確認済)</p>	<p>ズやライフスタイルに応じた保健事業を実施しています。具体的には、出前体操教室や食育普及講座、運動教室、ウォークの日などの事業です。また、御指摘いただいたフローチャートについては、病態に応じた健康保持の方法や日常生活の上で気をつける点などを記載したパンフレット等を配布するなど具体的な手段も各事業に取り入れて実施しております。</p> <p>御意見を参考にさせていただき、今後も、パンフレット等の活用などによる生活習慣病改善のための保健指導を実施し、対象者の状況に即した支援に努めてまいります。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 修正の内容

○ 第1章 5 これまでの保健事業の振り返り について

修正前	修正後
<p>p 18 2. 特定健康診査受診勧奨 実施状況 〈平成28年度〉 ○10月の健康フェスタ会場にて、特定健康診査受診勧奨のデザインの絆創膏を配布(2,500個)し、PR活動を行った。 ○国民健康保険課及び各窓口センターにおいても、絆創膏の配布を行った。(計2,500個)</p>	<p>p 18 2. 特定健康診査受診勧奨 実施状況 〈平成28年度〉 ○10月の健康フェスタ会場にて、特定健康診査受診勧奨のデザインの絆創膏を配布(2,500個)し、PR活動を行った。 ○国民健康保険課及び各窓口センターにおいても、絆創膏の配布を行った。(計2,500個) ○<u>出前教室、多世代交流出前教室で特定健康診査受診勧奨の啓発を実施した。(延300回、延人数6,200人)</u></p>
<p>p 19 3. 特定保健指導(動機付け支援) 実施状況 法定報告 平成28年度(平成29年8月末時点) 特定保健指導対象者数(動機付け支援) 944人、終了者378人、実施率40.0%</p> <p>評価 ・プレミアム健康相談会のアンケートでは</p>	<p>p 19 3. 特定保健指導(動機付け支援) 実施状況 法定報告 平成28年度(平成29年8月末時点) 特定保健指導対象者数(動機付け支援) <u>946人、終了者384人、実施率40.6%</u></p> <p>評価 ・プレミアム健康相談会のアンケートでは</p>

6割から9割の方が「満足」「やや満足」の評価を得た。	栄養・運動相談などに参加した方の6割、講演会に参加した方の約9割の方から「満足」「やや満足」の評価を得た。
<p>p 21 4. 特定保健指導（積極的支援） 実施状況 法定報告 平成28年度（平成29年8月末時点） 特定保健指導対象者数（積極的支援） 227人，終了者9人，実施率3.2% ・積極的支援対象者数 227人（うち終了者数9人）</p> <p>評価 特定保健指導対象者のうち特定保健指導受診者の生活習慣病及び重症化予防に寄与することができた。</p> <p>今後の課題 健康増進課や医療機関と連携を図りながら，特定保健指導実施率のさらなる向上に努める必要がある。</p>	<p>p 21 4. 特定保健指導（積極的支援） 実施状況 法定報告 平成28年度（平成29年8月末時点） 特定保健指導対象者数（積極的支援） 277人，終了者16人，実施率5.8% ・積極的支援対象者数 277人（うち終了者数16人）</p> <p>評価 特定保健指導対象者のうち特定保健指導受診者の生活習慣病及び重症化予防に寄与することができた。 <u>しかし，終了者が少ない現状であるため，実施率が低い状況にとどまっている。</u></p> <p>今後の課題 <u>保健指導の重要性を理解し利用してもらうことで，生活習慣病の予防及び重症化予防につなげる必要がある。また，現状では終了者が少ないので，終了者を増やし実施率を向上させる必要がある。</u></p>
<p>p 23 6. 特定保健指導利用勧奨（積極的支援） 今後の課題 保健指導の重要性を理解し利用してもらうことで，生活習慣病の予防及び重症化予防につなげるため，終了率を向上させる必要がある。また，より効果的な利用勧奨方法についての検討が必要である。</p>	<p>p 23 6. 特定保健指導利用勧奨（積極的支援） 今後の課題 <u>健康増進課や医療機関と連携を図り，特定保健指導実施率のさらなる向上に努める必要がある。また，より効果的な利用勧奨方法についての検討が必要である。</u></p>

○ 第2章 現状分析 について

修正前	修正後
p 47 図表21. 医療費 3 要素 同規模比較（平成28年度）	p 47 図表21. 医療費（入院・外来・歯科）要素別 同規模比較（平成28年度）
p 60 糖尿病受診者のうち，人工透析を行っている者は，経年で見るとやや減少傾向にあり，	p 60 糖尿病受診者のうち，人工透析を行っている者は， 経年で見るとやや減少傾向にあり，

<p>平成29年度で49人（男性37人，女性12人）となっています。（図表39）</p> <p>図表39. 糖尿病で受診している者のうち人工透析を行っている人数（40～74歳）（各年5月診療分）</p>	<p>平成29年度で49人（男性37人，女性12人）となっています。（図表39）</p> <p>図表39. 糖尿病で受診している者のうち人工透析を行っている人数（40～<u>64</u>歳）（各年5月診療分）</p> <p><u>※65歳以上で人工透析を行っている者は，後期高齢者医療制度へ移行する。</u></p>
<p>p 65 2 健診状況の把握 （1）健診受診状況 被保険者の特定健診受診率は，34.4%（平成28年度）であり，同規模の中では37都市中22位です（図表48）。</p> <p>図表48. 被保険者の特定健康診査受診率 同規模比較（平成28年度）のつくば市の受診率 34.4%</p>	<p>p 65 2 健診状況の把握 （1）健診受診状況 被保険者の特定健診受診率は，<u>34.5%</u>（平成28年度）であり，同規模の中では37都市中22位です（図表48）。</p> <p>図表48. 被保険者の特定健康診査受診率 同規模比較（平成28年度）のつくば市の受診率 <u>34.5%</u></p>
<p>p 65 図表49. 被保険者の特定健康診査受診率の経年変化 茨城県・同規模・全国との比較 のつくば市のH28年度の受診率 34.4%</p>	<p>p 65 図表49. 被保険者の特定健康診査受診率の経年変化 茨城県・同規模・全国との比較 のつくば市のH28年度の受診率 <u>34.5%</u></p>
<p>p 88 （1）生活習慣病（高血圧） 血圧検査実施者では，3疾患のいずれかを治療中で，かつ高血圧症の治療がない者の中に，Ⅱ度高血圧の者が21人，Ⅲ度高血圧の者が2人います。また，積極的支援，動機付け支援該当者のうち，指導未実施者でⅢ度高血圧以上の者が3人（積極的支援未実施者1人，動機付け支援未実施者2人）おり，情報提供者のうち，Ⅲ度高血圧以上の者が6人います（図表89）。</p>	<p>p 88 （1）生活習慣病（高血圧） <u>血圧における特定保健指導の対象者抽出の基準値は，収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上です。血圧分類の正常高値・Ⅰ度高血圧・Ⅱ度高血圧・Ⅲ度高血圧の4,733人，41.6%の者には特定保健指導，医療機関への受診勧奨など重症化予防のためのアプローチが必要となります。</u></p> <p>血圧検査実施者では，3疾患のいずれかを治療中で，かつ高血圧症の治療がない者の中に，Ⅱ度高血圧の者が21人，Ⅲ度高血圧の者が2人います。また，積極的支援，動機付け支援該当者のうち，指導未実施者でⅢ度高血圧以上の者が3人（積極的支援未実施者1人，動機付け支援未実施者2人）おり，情報提供者のうち，Ⅲ度高血圧以上</p>

	の者が6人います(図表89)。 (意見による修正)
<p>p 89 (2) 生活習慣病(脂質異常症)</p> <p>中性脂肪検査実施者では、3疾患のいずれかを治療中で、かつ脂質異常症の治療がない者の中に中性脂肪1,000g/dl以上の者はいません。しかし積極的支援該当者のうち、指導未実施者で中性脂肪400~999g/dlの者が13人います。(図表90)。</p>	<p>p 89 (2) 生活習慣病(脂質異常症)</p> <p><u>中性脂肪における特定保健指導の対象者抽出の基準値は、中性脂肪150mg/dl以上です。中性脂肪高値者2,104人、18.5%の者には特定保健指導、医療機関への受診勧奨など重症化予防のためのアプローチが必要となります。</u></p> <p>中性脂肪検査実施者では、3疾患のいずれかを治療中で、かつ脂質異常症の治療がない者の中に中性脂肪400~999g/dl以上の者が13人います。また、積極的支援該当者のうち、指導未実施者で中性脂肪400~999g/dlの者が13人います。(図表90)。 (意見による修正)</p>
<p>p 90 (3) 生活習慣病(糖尿病)</p> <p>HbA1c(NGSP値)検査実施者では、3疾患のいずれかを治療中で、かつ糖尿病の治療がない者の中に、HbA1c6.5%以上の者が63人います。また、動機付け支援該当者のうち、指導未実施者でHbA1c6.5%以上の者が21人おり、情報提供者のうち、HbA1c6.5%以上の者が60人います(図表91)。</p>	<p>p 90 (3) 生活習慣病(糖尿病)</p> <p><u>HbA1cにおける特定保健指導の対象者抽出の基準値は、HbA1c5.6%(NGSP値)です。HbA1c高値者6,518人、64.3%の者には特定保健指導、医療機関への受診勧奨など重症化予防のためのアプローチが必要となります。</u></p> <p>HbA1c(NGSP値)検査実施者では、3疾患のいずれかを治療中で、かつ糖尿病の治療がない者の中に、HbA1c6.5%以上の者が63人います。また、動機付け支援該当者のうち、指導未実施者でHbA1c6.5%以上の者が21人おり、情報提供者のうち、HbA1c6.5%以上の者が60人います(図表91)。 (意見による修正)</p>
<p>p 92</p> <p>CKDの重症度分類(赤色)該当者82人のうち、HbA1c検査実施者69人について、糖尿病フローチャートを用いて確認します。HbA1c6.5%以上の者は20人おり、糖尿病治療中となっています。</p>	<p>p 92</p> <p>CKDの重症度分類(赤色)該当者82人のうち、HbA1c検査実施者69人について、糖尿病フローチャートを用いて確認します。HbA1c6.5%以上の者は21人おり、<u>20人が糖尿病治療中</u>となっています。</p>

○ 第4章 重点課題と対策 について

修正前	修正後
<p>p 110 (3) 評価指標 特定健康診査受診率 平成28年度 現状値 34.4%</p> <p>「※平成28年度の現状値は、平成29年8月末時点での速報値」</p>	<p>p 110 (3) 評価指標 特定健康診査受診率 平成28年度 現状値 <u>34.5%</u></p> <p>「※平成28年度の現状値は、平成29年8月末時点での速報値」</p>
<p>p 111 (4) 保健事業(スケジュール)と目標</p> <p>1. 特定健康診査受診勧奨実施方法</p> <p>対象者へ受診券を送付。 集団健診, 医療機関健診, 人間ドック, いずれか1つを選んで受診。 春の集団健診終了後, 未受診者に対して受診勧奨のハガキを送付</p>	<p>p 111 (4) 保健事業(スケジュール)と目標</p> <p>1. 特定健康診査受診勧奨実施方法</p> <p>対象者へ受診券を送付。 集団健診, 医療機関健診, 人間ドック, いずれか1つを選んで受診。 春の集団健診終了後, 未受診者に対して受診勧奨のハガキを送付 <u>秋の集団健診終了後についても, 未受診者への受診勧奨を行う。</u></p>
<p>p 114 (3) 評価指標 特定保健指導実施率(動機付け支援及び積極的支援)</p> <p>特定保健指導実施率(全体) H28年度 現状値 31.7% (実施人数) (387人)</p> <p>動機付け支援実施率 H28年度 現状値 40.0% (実施人数) (378人)</p> <p>積極的支援実施率 H28年度 現状値 3.2% (実施人数) (9人)</p> <p>特定保健指導対象者数 H28年度 現状値 1,311人</p> <p>特定保健指導対象者数 H30年度からH35年度の目標値</p> <p>H30年度 1,272人 H31年度 1,233人 H32年度 1,180人 H33年度 1,115人</p>	<p>p 114 (3) 評価指標 特定保健指導実施率(動機付け支援及び積極的支援)</p> <p>特定保健指導実施率(全体) H28年度 現状値 <u>32.7%</u> (実施人数) (<u>400</u>人)</p> <p>動機付け支援実施率 H28年度 現状値 <u>40.6%</u> (実施人数) (<u>384</u>人)</p> <p>積極的支援実施率 H28年度 現状値 <u>5.8%</u> (実施人数) (<u>16</u>人)</p> <p>特定保健指導対象者数 H28年度 現状値 <u>1,223</u>人</p> <p>特定保健指導対象者数 H30年度からH35年度の目標値</p> <p>H30年度 <u>1,120</u>人 H31年度 <u>1,086</u>人 H32年度 <u>1,040</u>人 H33年度 <u>982</u>人</p>

<p>H34年度 1,049人 H35年度 984人</p> <p>※平成28年度の実施率の現状値は、平成29年8月末時点の速報値</p>	<p>H34年度 <u>924</u>人 H35年度 <u>866</u>人</p> <p>※平成28年度の実施率の現状値は、平成29年8月末時点の速報値</p>
<p>p 115 (4) 保健事業(スケジュール) と目標 1. 特定保健指導利用勸奨(動機付け支援) の表の目標の欄</p> <p>特定保健指導利用勸奨率</p> <p>H27年度の現状値 66.1% (勸奨人数) (831人)</p> <p>H28年度の現状値 66.4% (勸奨人数) (870人)</p> <p>H30年度の目標値 73.3%</p> <p>H31年度の目標値 80.2%</p> <p>H32年度の目標値 87.1%</p> <p>H33年度の目標値 94.0%</p> <p>特定保健指導利用率</p> <p>H27年度の現状値 35.5% (利用人数) (411人)</p> <p>H28年度の現状値 35.1% (利用人数) (428人)</p> <p>H30年度の目標値 36.7%</p> <p>H31年度の目標値 40.1%</p> <p>H32年度の目標値 43.6%</p> <p>H33年度の目標値 47.0%</p> <p>H34年度の目標値 50.0%</p> <p>H35年度の目標値 60.0%</p> <p>欄外の注釈 「特定保健指導利用率とは、初回面接を行い保健指導を利用したことの人の割合」 「※平成28年度の利用勸奨率、利用率の現状値は、平成29年8月末時点での速報値」</p>	<p>p 115 (4) 保健事業(スケジュール) と目標 1. 特定保健指導利用勸奨(動機付け支援) の表の目標の欄</p> <p>動機付け支援利用勸奨率</p> <p>H27年度の現状値 <u>72.3</u>% (勸奨人数) (<u>638</u>人)</p> <p>H28年度の現状値 <u>74.5</u>% (勸奨人数) (<u>705</u>人)</p> <p>H30年度の目標値 <u>100.0</u>%</p> <p>H31年度の目標値 <u>100.0</u>%</p> <p>H32年度の目標値 <u>100.0</u>%</p> <p>H33年度の目標値 <u>100.0</u>%</p> <p>動機付け支援利用率</p> <p>H27年度の現状値 <u>44.3</u>% (利用人数) (<u>391</u>人)</p> <p>H28年度の現状値 <u>43.6</u>% (利用人数) (<u>412</u>人)</p> <p>H30年度の目標値 <u>45.5</u>%</p> <p>H31年度の目標値 <u>47.5</u>%</p> <p>H32年度の目標値 <u>51.5</u>%</p> <p>H33年度の目標値 <u>56.0</u>%</p> <p>H34年度の目標値 <u>60.5</u>%</p> <p>H35年度の目標値 <u>65.0</u>%</p> <p>欄外の注釈 「特定保健指導利用率とは、初回面接を行い保健指導を利用したことの人の割合」 「※平成28年度の利用勸奨率、利用率の現状値は、平成29年8月末時点での速報値」</p>
<p>p 116. 特定保健指導利用勸奨(積極的支援) の表の目標の欄</p> <p>特定保健指導利用勸奨率</p> <p>H27年度の現状値 66.1% (勸奨人数) (831人)</p> <p>H28年度の現状値 66.4%</p>	<p>p 116. 特定保健指導利用勸奨(積極的支援) の表の目標の欄</p> <p>積極的支援利用勸奨率</p> <p>H27年度の現状値 <u>70.4</u>% (勸奨人数) (<u>193</u>人)</p> <p>H28年度の現状値 <u>75.8</u>%</p>

(勸奨人数) (870人)	(勸奨人数) (210人)
H30年度の目標値 73.3%	H30年度の目標値 <u>100.0%</u>
H31年度の目標値 80.2%	H31年度の目標値 <u>100.0%</u>
H32年度の目標値 87.1%	H32年度の目標値 <u>100.0%</u>
H33年度の目標値 94.0%	H33年度の目標値 <u>100.0%</u>
特定保健指導利用率	積極的支援利用率
H27年度の現状値 35.5%	H27年度の現状値 <u>7.3%</u>
(利用人数) (411人)	(利用人数) (<u>20</u> 人)
H28年度の現状値 35.1%	H28年度の現状値 <u>6.9%</u>
(利用人数) (428人)	(利用人数) (<u>19</u> 人)
H30年度の目標値 36.7%	H30年度の目標値 <u>10.7%</u>
H31年度の目標値 40.1%	H31年度の目標値 <u>15.2%</u>
H32年度の目標値 43.6%	H32年度の目標値 <u>19.7%</u>
H33年度の目標値 47.0%	H33年度の目標値 <u>29.2%</u>
H34年度の目標値 50.0%	H34年度の目標値 <u>38.7%</u>
H35年度の目標値 60.0%	H35年度の目標値 <u>45.0%</u>
特定保健指導利用率とは、初回面接を行い保健指導を利用したことがある人の割合 ※平成28年度の利用勸奨率、利用率の現状値は、平成29年8月末時点での速報値	特定保健指導利用率とは、初回面接を行い保健指導を利用したことがある人の割合 ※平成28年度の利用勸奨率、利用率の現状値は、平成29年8月末時点での速報値

○ 第5章 その他の課題と対策 について

修正前	修正後
p 121 1 課題の設定 医療費・疾病状況 保健事業 人間ドック等助成 (P. 125)	p 121 1 課題の設定 医療費・疾病状況 保健事業 人間ドック等助成 (P. 125) <u>健診関連事業 (P. 124)</u> <u>「健康長寿日本一をつくばから」関連事業 (P. 104~108)</u> <u>特定健康診査関連事業 (P. 111, 112)</u> <u>特定保健指導関連事業 (p. 115, 116)</u> <u>糖尿病重症化予防事業 (P. 120)</u>
p 127 5. ジェネリック医薬品差額通知 目標 通知発送回数 現状値 目標値 年6回 後発医薬品シェア 現状値 平成28年度 66.2% (平成29年1月診療分)	p 127 5. ジェネリック医薬品差額通知 目標 通知発送回数 現状値 目標値 年 <u>3</u> 回 後発医薬品シェア 現状値 平成28年度 66.2% (平成29年1月診療分)